

江南市立西部中学校で防災講座を行いました

令和8年7月17日（金）、江南市立西部中学校で全校生徒約250名に防災講座を行いました。学校は今年で発生から50年の節目を迎える9.12豪雨災害で浸水被害を受けています。

講座では、伊勢湾台風や9.12豪雨災害、東海豪雨など過去の水害を学習しました。また、レベル4・紫までに危ない場所から避難することやハザードマップを確認し、学校や江南駅の想定される浸水深を知った生徒たちは驚いた様子でした。

映像やVRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風AI語り部との対話体験も行い、VR体験後には「怖かった」との声が聞かれ、AI語り部には「江南市の浸水被害はどのくらいですか？」「伊勢湾台風は何時間続きましたか？」などの質問をし、新技術を通して水害の恐ろしさや伊勢湾台風について理解を深めました。

講座の最後に、代表の生徒から「日頃の備えについて家族と話し合って、普段の生活に生かしていきたいです。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞、尾北ホームニュースに取材頂きました。

